

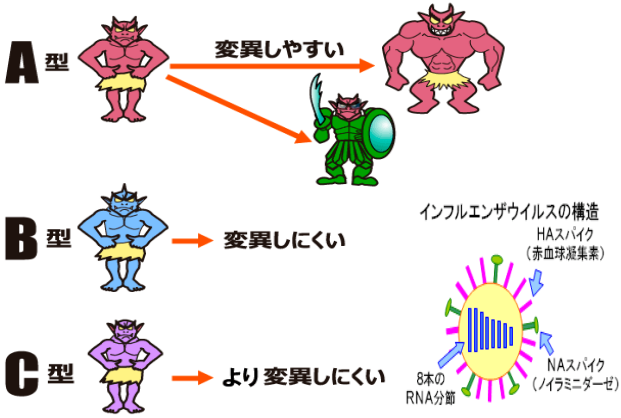


2020年1月27日

新年あけまして・・・と年賀状の習慣は古くは平安時代の貴族の手紙。年始の挨拶は古くからの日本人の習慣で、明治4年の郵便制度ができて郵便葉書で爆発的に広まったそうです。「はがき」は本来覚書として「端書」や「羽書」と言われていますが、年賀葉書の「葉」は多羅葉(タロヨウ)の葉に由来するのだとか。タロヨウの葉にはタンニンが多くふくまれているので、とがったもので傷をつけると酸化して黒く浮き出るとか。



今回は、毎年流行しているインフルエンザについて。新年早々、日本では予防接種もしているのに、なぜこんなに流行するのでしょうか。



A型インフルエンザウイルスは、もともと水鳥の腸管にいるウイルスです。水鳥どうし、あるいは水鳥から鶏などの家禽にも感染しますし、人や豚、馬、アザラシなどにも感染することが知られています。また、常に変異していることも特徴の一つ

B型は主に人の間だけで流行しているものなので変異をあまりしない分、大流行しません。

C型も主に人に感染しますが感染力に乏しく、いったん抗体を獲得すると長期間感染しないため、大きな流行はありません。単なる風邪みたいなもの。

インフルエンザウイルスの表面には、H(ヘマグルチニン)とN(ノイラミニダーゼ)という突起があります。Hは、宿主の細胞に結合するために必要な物質であり、Nは、細胞から自らを切り離してウイルスが出て行くために必要な部分です。A型インフルエンザウイルスには、Hが16種類、Nが9種類あり、その組み合わせで理論的には $16 \times 9 = 144$ 種類の亜型が存在します。



有名なインフルエンザの型
A型: H1N1(ソ連型)、H2N2(アジア型) H3N2(香港型)、
B型: 山形型、ビクトリア型

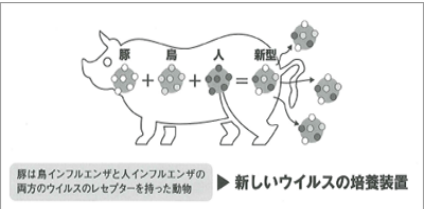
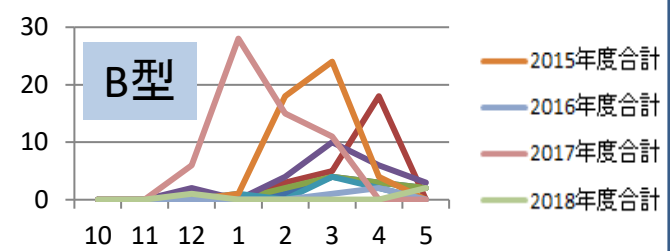
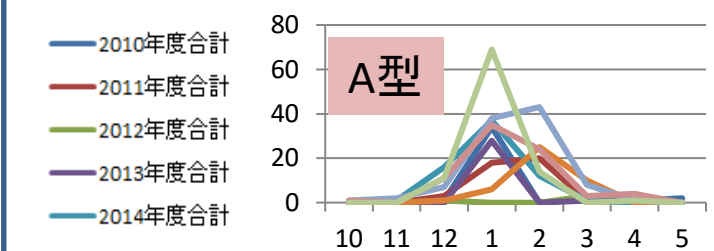
近年のワクチンはH1N1 H3N2 山形型 ビクトリア型の4種類をカバーしています。

注) 2009年に世界的に問題になった、新型インフルエンザはH1N1の亜系です。同じタイプでも亜系があるためワクチンには当たり外れがどうしても出てくるのです。



今の時期、空気の乾燥には要注意。手洗い、うがいを実践している私は、生来インフルエンザに罹患したことはありません。

淀井病院の毎年のインフルエンザ患者のグラフです。2017年以外ではA型の後にB型が流行しています。



新型インフルエンザは鳥インフルエンザや人インフルエンザが豚を介して型を変化させ発生すると言われています。同じH1N1でも少しずつ型の違うタイプが混ざり合うことで新しいタイプが発生することがあります。中国南部では、水鳥と豚が同じ場所で売買される市場が多数存在するため、新しいインフルエンザの誕生、そして感染するリスクが高いと言われています。